

ホントに開催？ ワークショップ 「大阪万博」を考える 市民からのアセスメント提案

参加費無料

大阪万博が埋立地「夢洲」を会場に開催されようとしています
でもちょっと待ってください

会場として有力な候補地とされている夢洲については、開催地として確定したかのように情報発信されていますが、実はまだ正式には決定されていません。持続可能な社会の構築という観点から、より妥当な開催の場所あるいは内容などの選択があるのではないのでしょうか。万博の開催に向けて、どのような「アセスメント」が行われるべきか、市民から提案していきましょう！

日時 ◆第1回：2019年 5月10日（金） **終了**
『大阪万博の何が心配？～市民からの配慮書づくり～』

◆第2回：2019年 6月22日（土）18時30分～21時 **終了**
『何を調べるべきか ～市民からの方法書づくり～』 30名（先着順）

◆第3回：2019年 7月27日（土） 14時～17時
『大阪万博に求められるアセスメントとは・・・』 40名（先着順）
（申し込み締め切り：7月26日）

〈第3回会場〉 鶴見緑地公園・なにわECOスクエア 研修室
（大阪市営地下鉄「鶴見緑地」駅すぐ、大阪市営バス・京阪バスでのアクセスあり）

※以前の広報から会場が変更となりました。ご注意ねがいます。

万博予定地とされる『夢洲』は 南港野鳥園とともに渡り鳥の宝庫！

大阪府の生物多様性
ホットスポットAランク'夢洲'



●航空写真でみる夢洲

めざせ
野鳥の楽園

●水鳥が集まる開催予定地

生物ホットスポットとしての
詳しい情報把握を！

交通網・騒音・光
生物への影響は？

埋め立ての土は
どこから？

心配・・・

IRとセット・・・
治安も教育上
も心配？

有害物質は・・・？
健康に問題は？

台風・地震・津波
・・・大丈夫？

●第2回：6月22日（土）18時30分～21時 『何を調べるべきか ～市民からの方法書づくり』

＊話題提供1：夏原 由博氏
（名古屋大学教授・大阪自然環境保全協会会長）

＊話題提供2：奥田 喜代子氏
（NPO法人 共生の森代表）

＊グループディスカッション

第1回WSで出された「心配事リスト」およびそれ
にもとづく現地確認や聞き取り調査等をふまえ、
万博計画にはどのような事前の調査が必要となるの
かを考えます。

●第3回：7月27日（土）14時～17時 『大阪万博に求められるアセスメントとは』

＊コメンテーター：矢持 進 氏（大阪市立大学名誉教授）
山田 明 氏（名古屋市立大学名誉教授）
山西良平氏（西宮市貝類館顧問）

＊グループディスカッション

これまでの意見をもとに、BIEや経済産業省等にどの
ような提案を出すのかを、視点も広げて議論します。
懸案事項や関連する事から詳しい方々からの解説や
パネルディスカッションも予定。

★第2回後、意見交換の内容をHPにて発信。
第3回にむけて、より多くの方々から
のご意見をあつめる予定です

★提言の発信

BIE、経済産業省、万博協会、知事、市長
などに送付およびWEB上で発信します

公益社団法人大阪自然環境保全協会は、「大阪南港に野鳥園をつくる運動」を支えた市民が中心になって、
1976年に設立されました。近年では、堺7-3区「共生の森」づくりなど、埋め立て地の自然再生に尽力しています。
大阪、ひいては関西の生物多様性・生態系の「保全」の上で、「保護」と「再生」の両輪が極めて重要です。
「大阪・関西万博」の夢洲での開催計画に対して、心配なこと・調べるべきこと、提案も含め意見交換を重ね、
埋め立て地のあり方について考えていきたいと思っています。ご参加お待ちしております。

●申込み/問合せ：公益社団法人 大阪自然環境保全協会〈生物多様性推進委員会〉

TEL: 06-6242-8720 / FAX: 06-6881-8103 / E-mail: office@nature.or.jp

→氏名・住所・電話・メールアドレス・所属（よろしければ）をお知らせください。

申込みフォーム：<http://bit.ly/yumeshima>

※詳細は直接担当までお問い合わせください（できるだけメールにてお願いします）